

森羅万象を俯瞰

インサイト・これは本田のハイブリッド車の名前ですが、そもそもインサイト (insight) ことは、英語で洞察、見識などの意味だそうです。

現代は、第三次産業革命の真っ直中で、18世紀イギリスの石炭と蒸気機関による産業構造の転換。第二次が19世紀の石油と電気。第三次産業革命はコンピュータとネットワークの、すなわち情報通信革命で

す。社会が劇的に変化加速しています。今日ほどこのインサイトの言葉に光があたる時代はありません。全体を神のごとく俯瞰し、「汎汎衆一」翁の視点が今、必要です。

◇ 近代以降の世界は、産業革命とキリスト教一神教が結びつき、世界の文明の趨勢(すうせい)を形成した。この文明は物質至上主義を優先し、古くからある良い精神を駆逐していった。戦争と収奪を絶え間なく拡散し、ついには世界を巻き込む大戦に進んだ。経済は金融資本主義が加速的に増殖し、その結果が、世界中に格差社会をもたらした。平和で自立的に生きていた社会をことごとく搾取の対象にしてしまった。金融資本主義が膨張した結果、世界中にフラッシュ・ポイント化されたそのシステムは、発祥の国そのものから自滅的に破綻した。ベルリンの壁が崩壊して以来、こういう不幸な世界パラ

ダイムは、実に多くの国々を苦しめてきた。その深層に一神教的収奪スタイルがあったことは間違いない。つまり、アメリカが体現した文明のスタイルは、欧米近代主義が形成した文明の限界と見ていいだろう。終焉というはつきりした帰着点に向かっていくと思う。こういう大きな文明論的視座に立つて見た場合、小沢一郎氏の言い分は正しいと思う。しかし、為政者が絶対に避けて言わないことを堂々と小沢氏の器量は並大抵

のものではない。物凄く度胸だと思ふ。この発言は、あの第七艦隊発言とまったく同じ地平に立ったアメリカ批判である。戦後日本はアメリカの豊かさに憧れ、アメリカを無批判に信奉してきた。その結果が、アメリカの収奪意志に翻弄され、今、世界も日本もひどいことになっている。いつか世界は、古くからあった日本の縄文的世界観を学ぶ時が来るだろう。小沢氏の発言が、それを先取りしているように感じたのは、私だけだろうか。アメリカの隷属から脱却するためには、小沢氏のような気概を持つ必要がある。

最後に、この宗教論は問題があるだろう。だが、植草さんがセーフティネットの構築を重要視していることは、世界にとっても普遍的なことだと思ふ。世界には虐げられるものが出ないようになし、虐げられたものが出た場合、救済されるシステムを構築する必要がある。その意味で、違つた価値観を持つものを受け入れる多神教の世界観は重要視されるべきである。この文脈において、小沢氏の「問題発言」は強く擁護したい気分である。高橋博彦

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2009年11月24日 (火) N079

地域から明るく未来を作ろう

私は、地上に奇跡の確立で生まれた限りにおいて、何らかの与えられた使命があると思っています。万人には何らかの使命があるのです。

確信なき自信

その使命のため、私達は常に心身を整える義務が有るのです。卑怯者には、時に全てを懸けて殉ずる覚悟も厭わない。

込んだのです。自分の使命と真正面から捉え、退路を断つたのです。私の行動が他からどう見

つまり、そのためには健康心でなければならぬと思ふのです。私は覚悟を決め逆境に飛び

えようと私利私欲の決断ではないのです。物取りや金が目当てでは決して有りません。

私は今でも日本人として決して許せないのです。自然の摂理に従うのみです。どんな試練にも打ち勝つ確信なき自信の炎が内に燃えているのです。

